



株式会社DDホールディングス

2019年2月期第2四半期
決算補足説明資料

2018年10月17日

証券コード：3073

連結業績トピックス



【わらやき屋 九段下】

1 台風等による天災の影響による（修正後）各段階利益未達

→天災の影響により、関西、広島エリア中心に営業不能となった店舗が発生

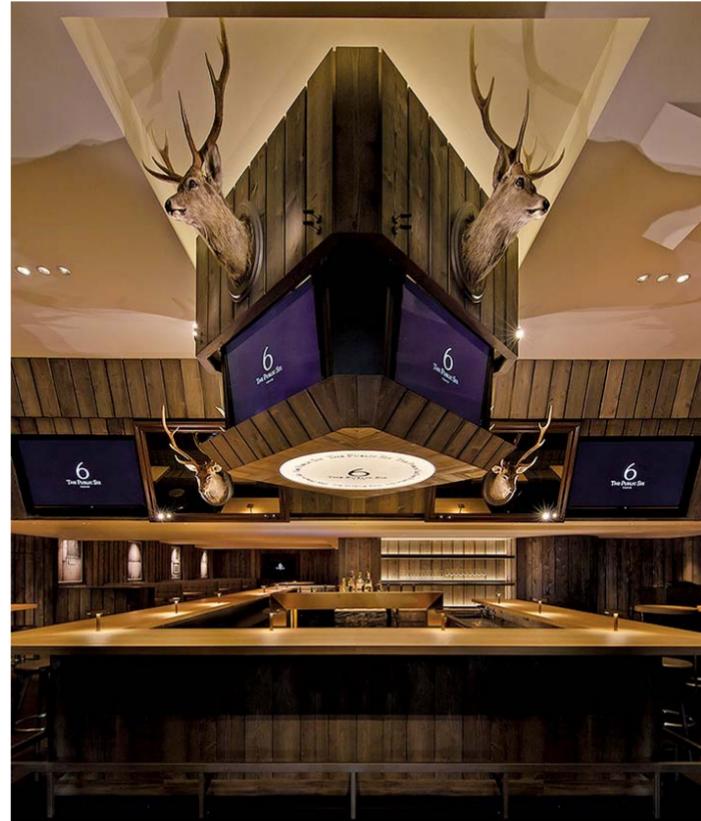
2 アミューズメント事業が堅調に推移。国内既存店昨対99.4%

→飲食：97.6%、アミューズメント：103.6%

3 ゼットン中間期業績予想を上方修正、通期は据置き

→ダイニング事業が堅調に推移し既存店対比103.2%。国内飲食既存店も101.1%

連結業績

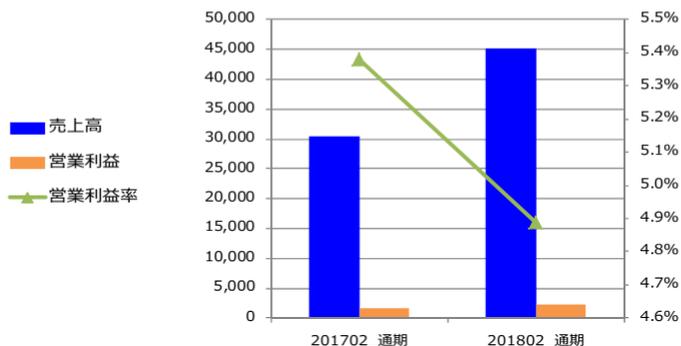


【THE PUBLIC SIX】

連結業績



通期

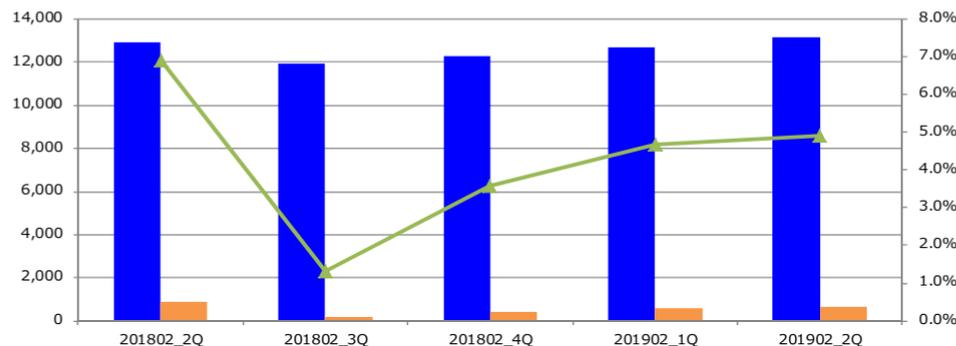


	2017年 2月期 (通期)	2018年 2月期 (通期)
--	-------------------	-------------------

売上高	30,509	45,077
売上原価	6,408	10,570
売上総利益	24,101	34,506
販売費及び一般管理費	22,460	32,301
営業利益	1,641	2,204
経常利益	1,435	2,223
親会社に帰属する四半期/当期純利益	648	1,010
EBITDA	2,766	3,629
(ご参考) のれん償却費控除前営業利益	1,738	2,355

四半期会計期間

(単位：百万円)



	2018年2月期			2019年2月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	12,950	11,912	12,313	12,682	13,147
営業利益	896	158	439	595	644
経常利益	908	175	434	558	640
親会社に帰属する四半期/当期純利益	645	7	▲86	339	639
EBITDA	1,264	565	862	961	1,021
(ご参考) のれん償却費控除前営業利益	943	206	487	644	693

※注 EBITDA=営業利益+減価償却費+リース資産償却費+ソフトウェア償却費+権利金償却費+のれん償却費+繰延資産償却費

セグメント別業績



		通期	
		2017年	2018年
		2月期 (通期)	2月期 (通期)
国内飲食	売上高	21,064	34,846
	営業利益	2,406	3,656
	営業利益率	11.4%	10.5%
海外飲食	売上高	1,416	1,511
	営業利益	▲ 181	▲ 96
	営業利益率	-	-
アミューズメント	売上高	8,029	8,719
	営業利益	1,118	1,538
	営業利益率	13.9%	17.6%
全社	売上高	30,509	45,077
	営業利益	1,641	2,204
	営業利益率	5.4%	4.9%

		四半期会計期間				
		2018年2月期			2019年2月期	
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
国内飲食	売上高	10,318	9,439	9,664	10,038	10,389
	営業利益	1,301	710	882	863	896
	営業利益率	12.6%	7.5%	9.1%	8.6%	8.6%
海外飲食	売上高	396	369	373	350	381
	営業利益	▲ 29	▲ 15	▲ 51	▲ 14	▲ 8
	営業利益率	-	-	-	-	-
アミューズメント	売上高	2,236	2,102	2,274	2,293	2,376
	営業利益	466	268	405	419	496
	営業利益率	20.8%	12.7%	17.8%	18.3%	20.9%
全社	売上高	12,950	11,912	12,313	12,682	13,147
	営業利益	896	158	429	595	644
	営業利益率	6.9%	1.3%	3.5%	4.7%	4.9%

(単位: 百万円)

注 ゼットンの海外飲食事業は連結上、国内飲食に含んでおります。

同四半期四半期実績 (2019年2月期2Q) 対比

【国内・海外飲食】

(売上高)

国内の主たる要因として、既存店昨対比97.6%の結果となったものの、前期第2四半期より連結対象となった㈱ゼットン、㈱商業藝術の第1四半期分の寄与による増加及び前期第3四半期より事業を開始したウェディング事業の第1四半期分の寄与による増加となる。海外においては、売上高減少傾向

(営業利益)

国内の主たる要因として既存店昨対比減少97.6%、前期同事業対比(㈱ゼットン、㈱商業藝術を除き、ブライダル事業を除く)の売上原価率が1.6point増加したことによる売上総利益の減少。また、前期第3四半期に開業したウェディング事業が計画とおりではあるものの、▲135百万円の着地となったことによるものであります。また、海外においては、売上高の減少したものの、前期末に店舗設備資産を減損したことによる償却額の低減による営業損失の圧縮。

【アミューズメント】

(売上高)

主たる要因として、サーバーダウンにより予約受付が一定期間できないトラブルがあったものの、既存店昨対103.6%と堅調に推移したことによるものであります。

(営業利益)

既存事業(店舗)は堅調に推移したことで、前期第3四半期に開業したカプセルホテル事業の営業利益率が既存事業と比較して低い事業を補完

主要係数



(単位：百万円)

	通期	
	2017年	2018年
	2月期 (通期)	2月期 (通期)
売上原価率	21.0%	23.4%
販管費率	73.6%	71.7%
営業利益率	5.4%	4.9%
(ご参考) のれん償却除前営業利益率	5.7%	5.2%
経常利益率	4.7%	4.9%
EBITDA	2,766	3,629

	通期	
	2017年	2018年
	2月期 (通期)	2月期 (通期)
有利子負債額	9,679	14,255
ネットD/Eレシオ (倍)	1.2	1.7
自己資本比率	20.8%	20.3%

	四半期会計期間				
	2018年2月期			2019年2月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
	23.9%	24.3%	24.0%	24.4%	24.2%
	69.2%	74.4%	72.4%	70.9%	75.8%
	6.9%	1.3%	3.6%	4.7%	4.9%
	7.3%	1.7%	4.0%	5.1%	5.3%
	7.0%	1.5%	3.5%	4.4%	4.9%
	1,264	565	862	961	1,021

	四半期累計期間				
	2018年2月期			2019年2月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
	14,737	13,694	14,255	14,678	14,190
	1.7	1.8	1.7	1.6	1.4
	17.5%	18.7%	20.3%	19.9%	20.3%

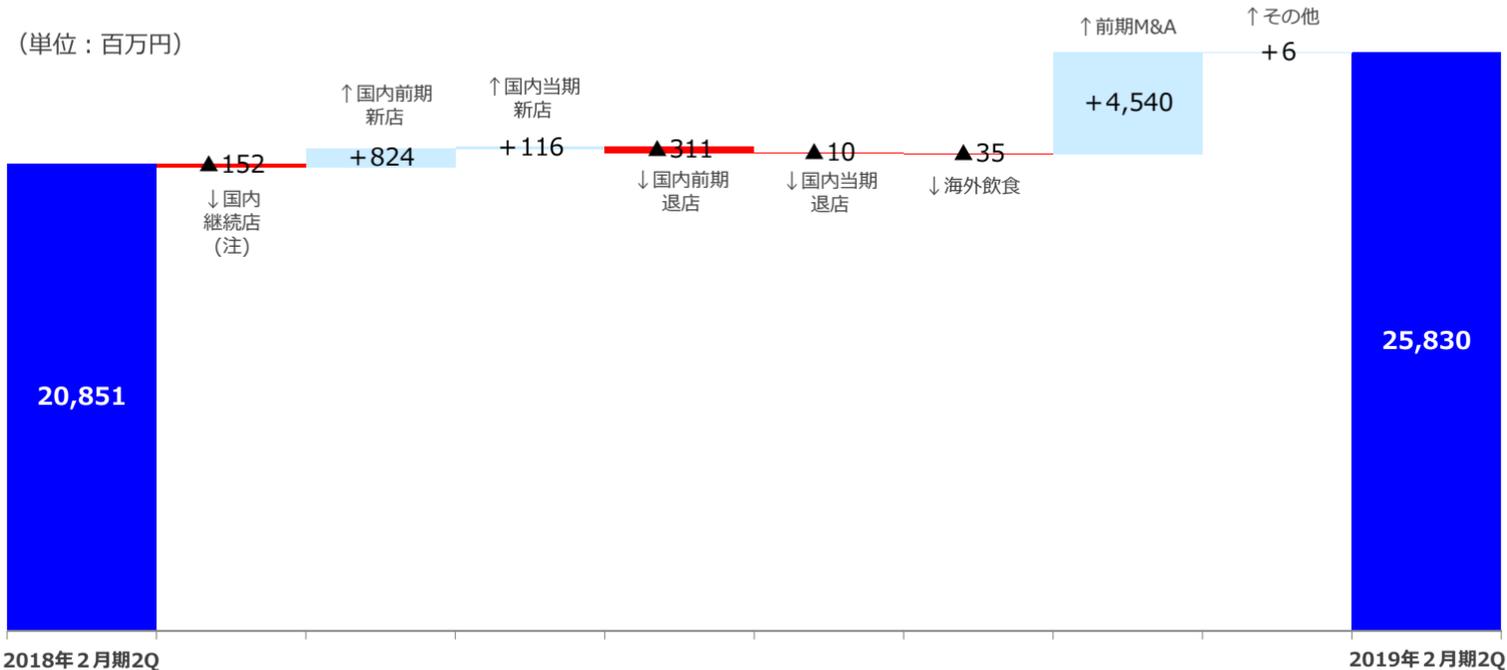
【売上原価率】 2017年の酒税法改正の影響を受けたものの全社ベースで、前期同事業対比（㈱ゼットン、㈱商業藝術、ウェディング事業を除く）の売上原価率が1.1point増加に留まっております。また、原価率上昇の主な要因は、前期第2四半期に連結対象となった㈱ゼットン、商業藝術並びに前期第3四半期に新規事業として開業したウェディング事業の売上原価率が合算ベースで28.7%と既存国内飲食事業と比較して高いことから、売上原価率が上昇しております。

【経常利益率】 前期に持分法適用関連会社となった㈱エスエルディーの持分法投資損失▲106百万円を計上したことが主な要因であります。

【有利子負債額】 前期第2四半期以降に実行した㈱商業藝術、㈱エスエルディーのM&A資金や、ウェディング事業開業に係る資金の銀行借入等の返済による減少

売上高対前年増減要因

前期第2四半期より連結対象となった2社の売上高が加算したことが主な要因であります。

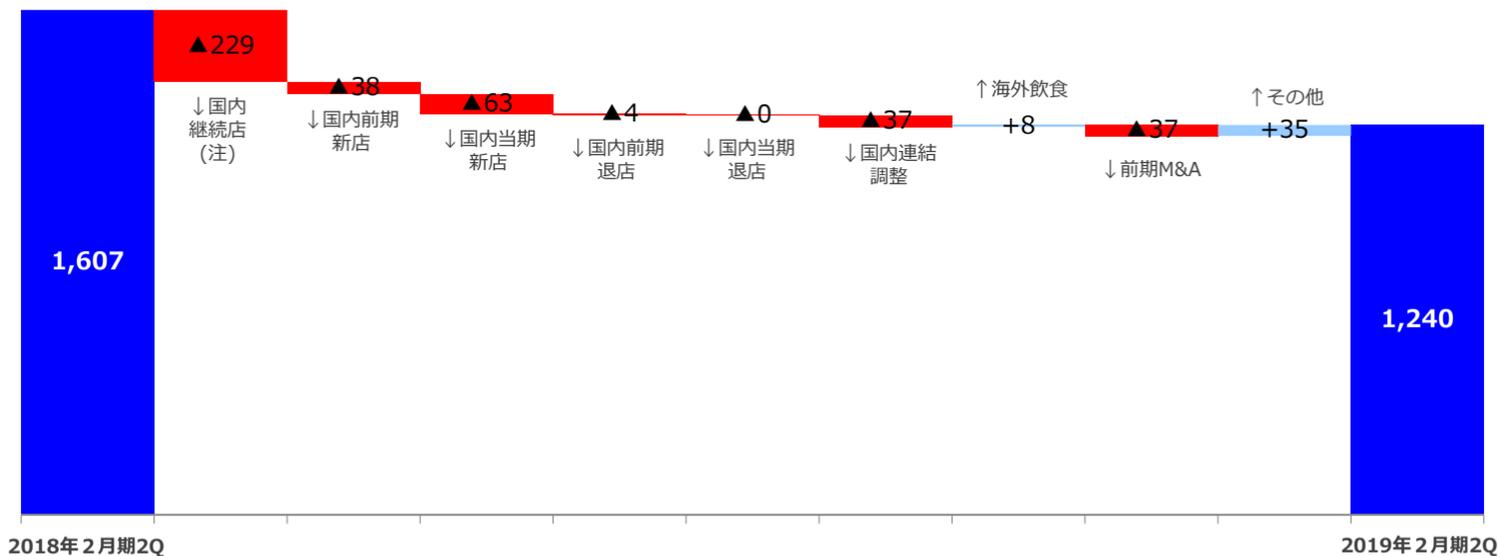


※注 国内継続店とは2018年2月末日時点で継続して1年以上営業している国内の店舗とする（前期新店を除く）

営業利益対前年増減要因

国内飲食既存店昨対比97.6%による売上総利益減。
 前期開業した2事業（ウェディング、カプセルホテル）の立ち上げ期による減収が主な要因であります。

（単位：百万円）



※注 国内継続店とは2018年2月末日時点で継続して1年以上営業している国内の店舗とする（前期新店を除く）

連結B/S



(単位：千円)

	2018年 2月期	2019年 2月期 2Q	前期比増減		2018年 2月期	2019年 2月期 2Q	前期比増減
流動資産	7,714,150	9,896,809	2,182,659	有利子負債	14,255,670	14,190,593	▲ 65,077
現金及び預金	4,737,014	6,311,521	1,574,507	その他流動負債	7,416,161	7,645,745	229,584
その他流動資産	2,977,136	3,585,287	608,151	負債合計	21,671,832	21,836,339	164,507
固定資産	19,645,481	17,888,278	▲ 1,757,203	株主資本	4,683,352	5,548,110	864,758
有形固定資産	7,605,796	7,543,606	▲ 62,190	利益剰余金	3,367,423	4,231,429	864,006
無形固定資産	3,239,538	3,180,801	▲ 58,737	その他の包括利益累計額	925,404	134,796	▲ 790,608
のれん	3,120,039	3,052,736	▲ 67,303	非支配株主持分	372,459	526,655	154,196
投資その他資産	8,800,146	7,163,870	▲ 1,636,276	純資産合計	5,981,215	6,209,563	228,348
繰延資産	293,416	260,814	▲ 32,602	負債・純資産合計	27,653,048	28,045,903	392,855
資産合計	27,653,048	28,045,903	392,855				

【増減主要要因】

(資産) 投資有価証券が1,320,674千円減少したものの、現金及び預金、預け金がそれぞれ1,574,507千円、289,608千円増加したこと等によるものであります。

(負債) 短期借入金、繰延税金負債がそれぞれ1,050,000千円、381,933千円減少したものの、長期借入金、買掛金がそれぞれ1,250,200千円、346,444千円増加したこと等によるものであります。

連結C/F サマリー



(単位：百万円)

	2018年 2月期 (2Q)	2019年 2月期 (2Q)	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,603	2,239	636
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,781	▲ 134	1,647
フリー・キャッシュフロー	▲ 177	2,105	2,282
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,529	▲ 191	▲ 1,720
現金及び現金同等物の増加額	1,313	1,895	582
連結の範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	731	—	▲ 731
現金及び現金同等物の期末残高	6,891	6,688	▲ 203

売上高及び既存店推移



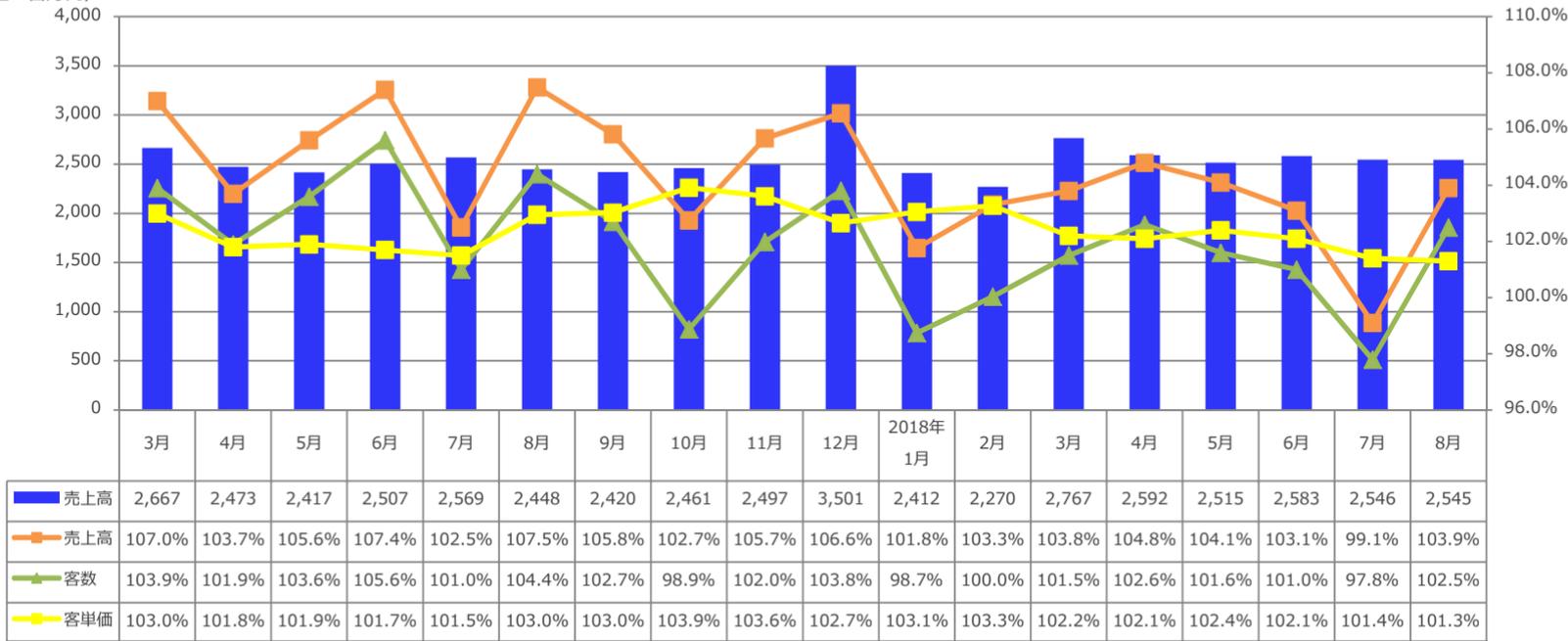
【九州熱中屋 上野LIVE】

国内全店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



	2018年2月期					2019年2月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	上期
売上高	105.5%	105.7%	104.7%	104.2%	105.0%	104.2%	101.9%	103.1%
客数	103.1%	103.6%	101.2%	101.1%	102.3%	101.9%	100.3%	101.1%
客単価	102.3%	102.0%	103.5%	103.1%	102.7%	102.3%	101.6%	101.9%

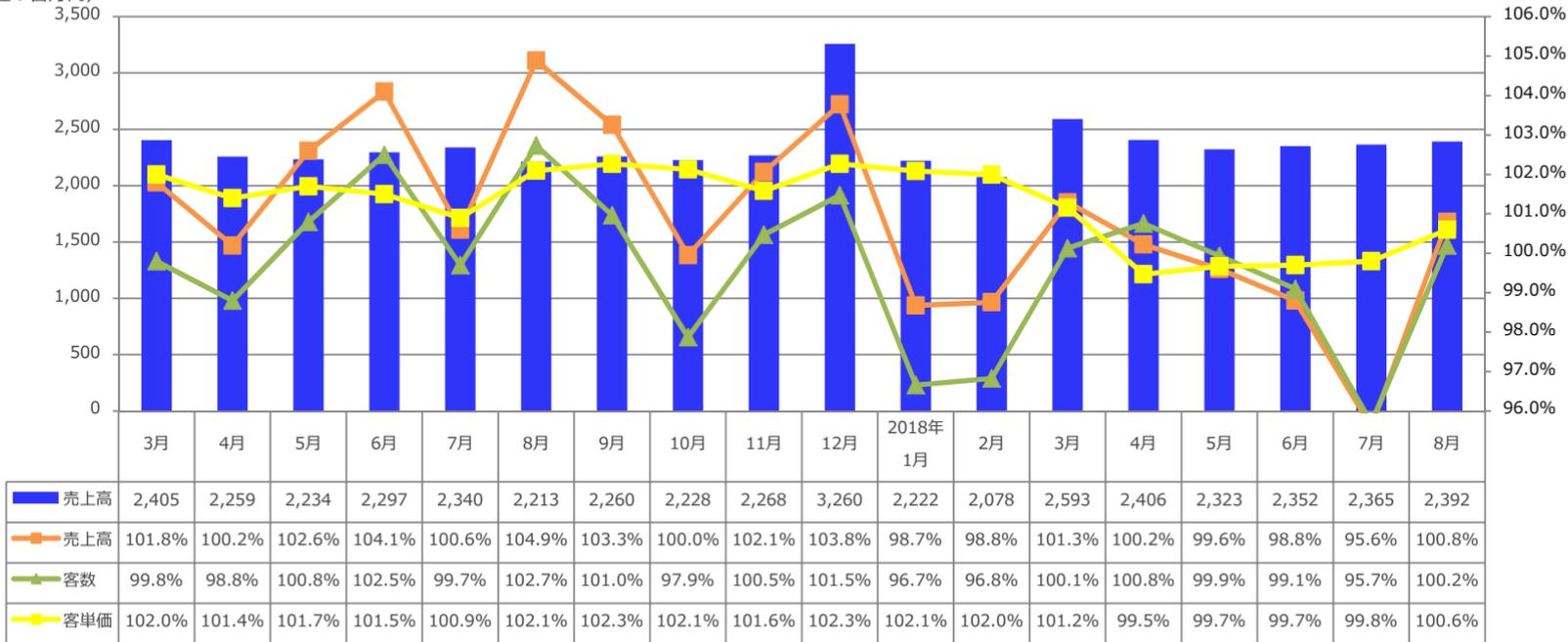
※注 全店同月比には2018年2月期第2四半期会計期間より連結子会社となった(株)ゼットン及び(株)商業藝術の昨対比は含めておりません。
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内既存店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



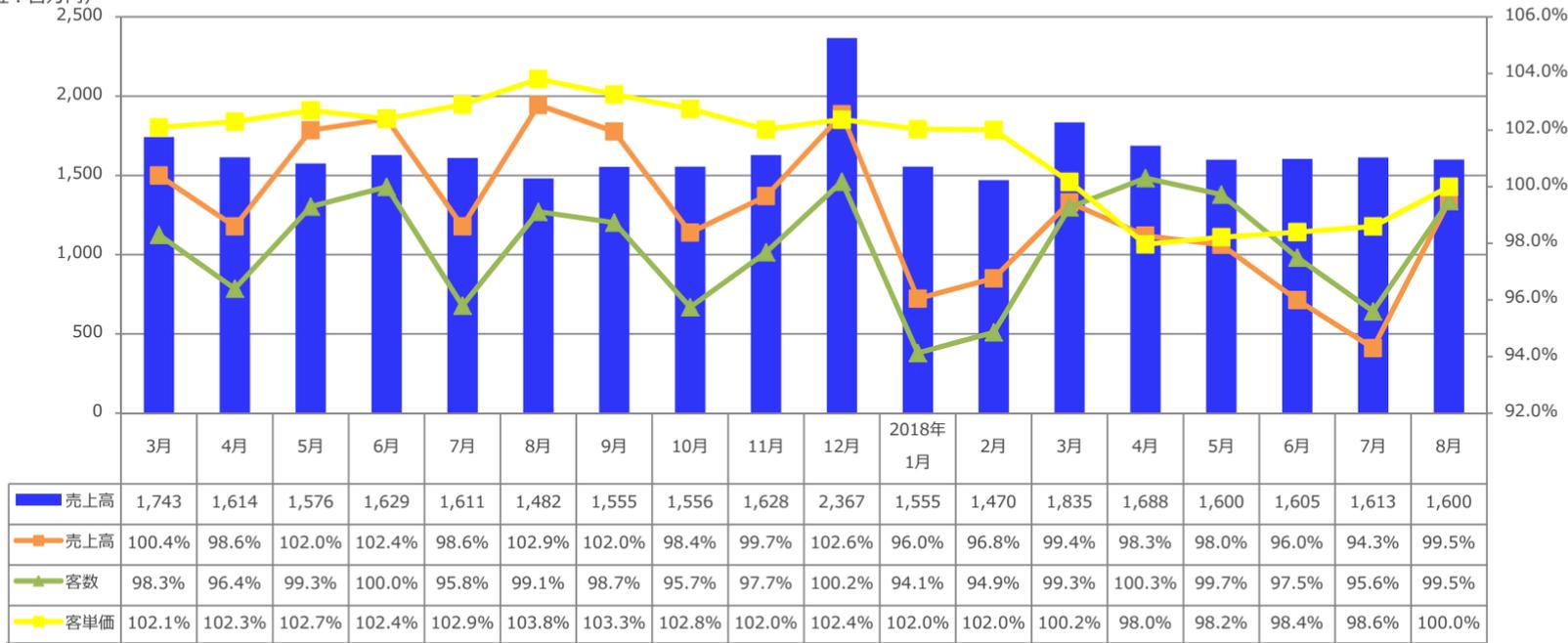
	2018年2月期					2019年2月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	上期
売上高	101.5%	103.1%	101.7%	100.8%	101.8%	100.4%	98.4%	99.4%
客数	99.8%	101.6%	99.8%	98.6%	99.9%	100.3%	98.3%	99.3%
客単価	101.7%	101.5%	102.0%	102.3%	101.8%	100.1%	100.0%	100.1%

※注 国内既存店同月比には2018年2月期第2四半期会計期間より連結子会社となった(株)ゼットン及び(株)商業藝術の昨対比は含めておりません。

国内飲食既存店 売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)
2,500



	2018年2月期					2019年2月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	上期
売上高	100.3%	101.2%	100.0%	99.0%	100.1%	98.6%	96.5%	97.6%
客数	98.0%	98.2%	97.4%	96.8%	97.6%	99.8%	97.5%	98.6%
客単価	102.4%	103.0%	102.7%	102.3%	102.5%	98.8%	99.0%	98.9%

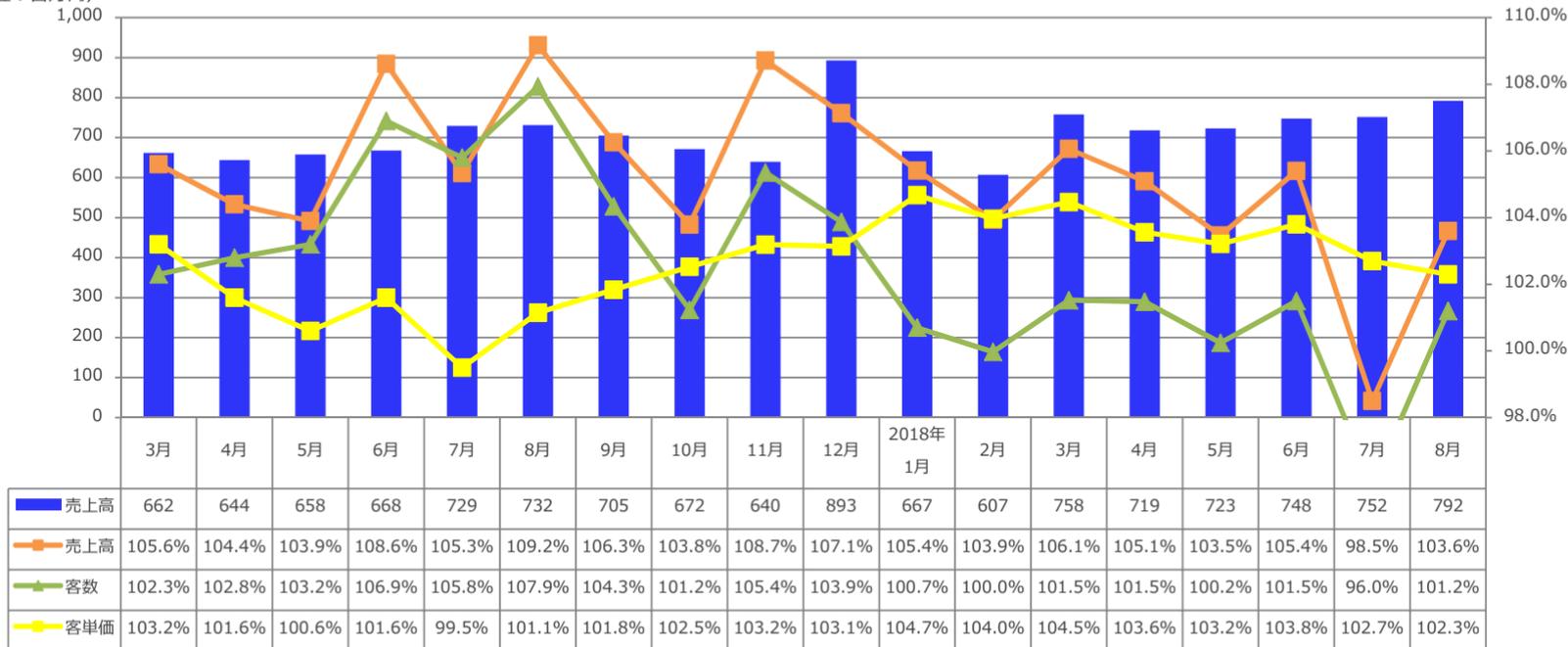
※注 国内飲食既存店同月比には2018年2月期第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比は含めておりません。
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内アミューズメント既存店

売上高・客数・客単価 前年同月比

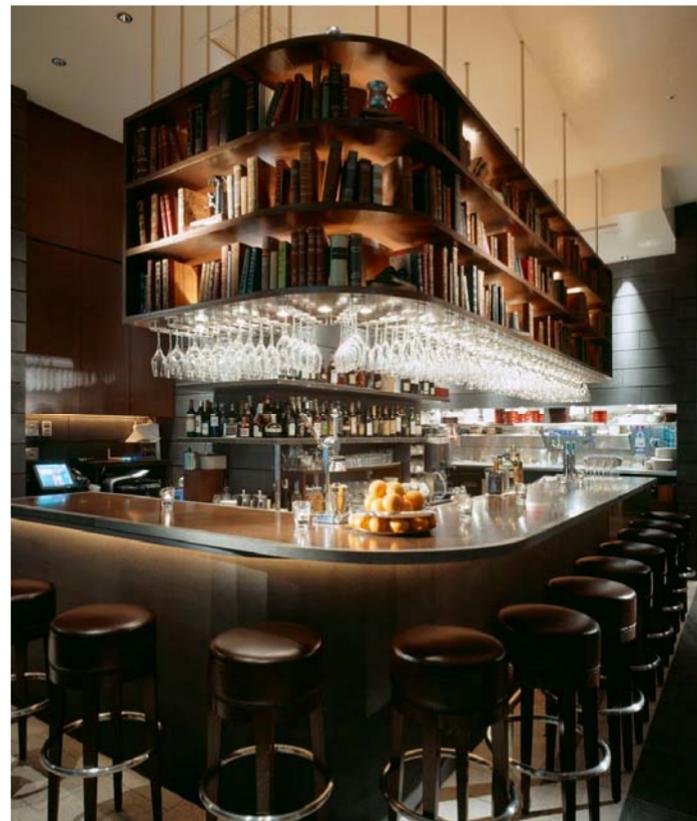


(単位：百万円)



	2018年2月期				年間	2019年2月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	上期
売上高	104.6%	107.7%	106.2%	105.7%	106.1%	104.9%	102.4%	103.6%
客数	102.8%	106.9%	103.6%	101.7%	103.7%	101.1%	99.5%	100.3%
客単価	101.8%	100.7%	102.5%	104.0%	102.2%	103.8%	102.9%	103.3%

新規出店の状況

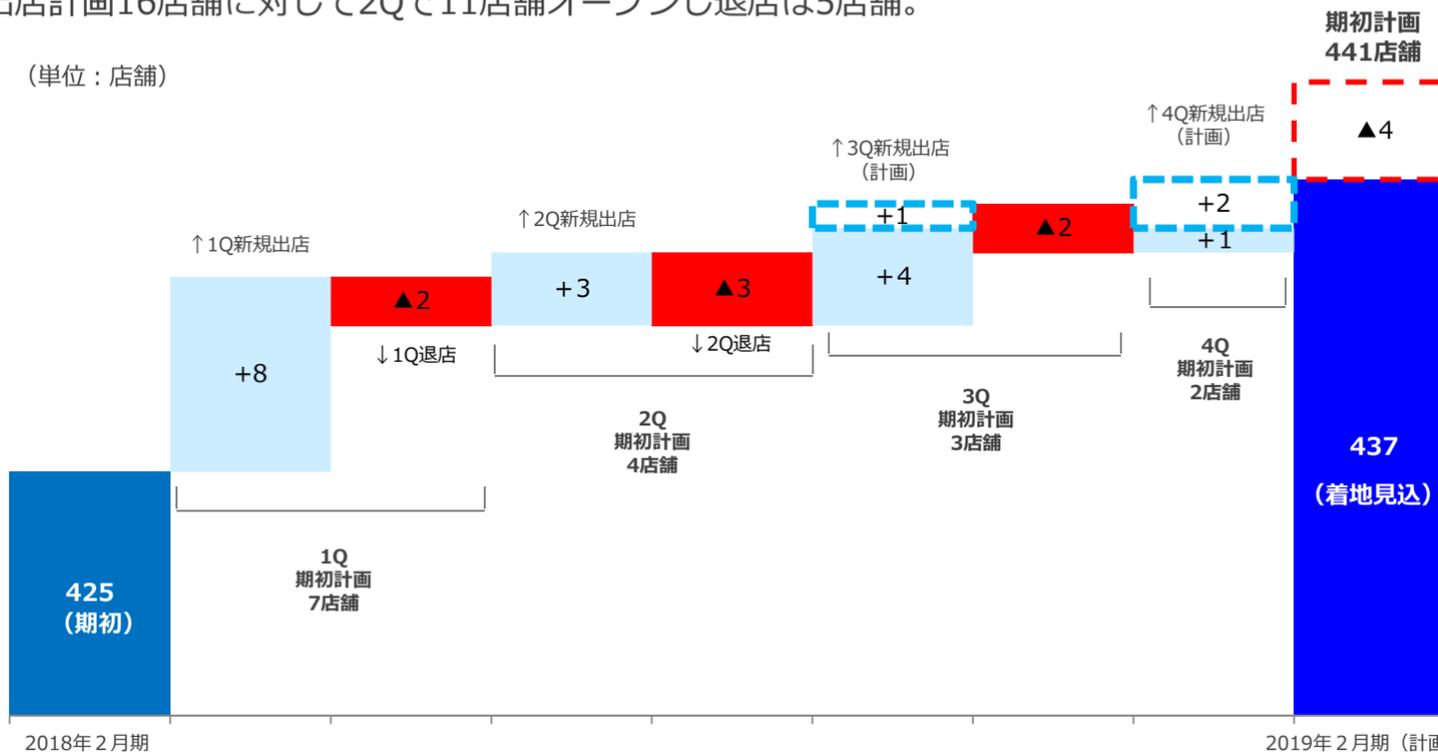


【orangé】

計画店舗数推移

今期出店計画16店舗に対して2Qで11店舗オープンし退店は5店舗。

(単位：店舗)



新規ブランド紹介①



【HISTORICAL APARTMENT】

ワイキキ、クヒオ通りとシーサイドアベニューの交差点を、アラワイ運河側に入ったロケーション。1939年に建てられた、歴史的建造物指定の建物を当時の面影を残しつつリノベート。先だってオープンしたZIGUの二階に位置する隠れ家的空間です。



【ZIGU (ジグ)】(2018年5月14日オープン)

店名である「ZIGU (ジグ)」の言葉の由来は、店のコンセプトである「EAT LOCAL」(地産地消)を、「地(ZI)を喰らう(GU)」と、和の音に置き換えました。ハワイの食材を心ゆくまで味わえる、今までにない和食レストラン&バーとなります。

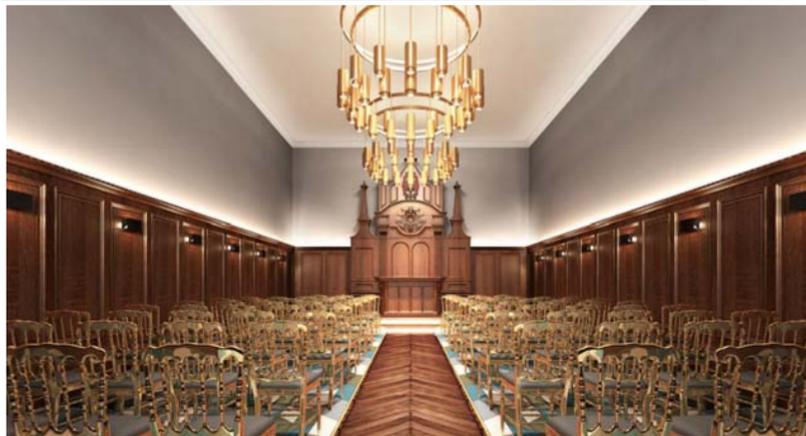
ZIGU 



【PARIS.HAWAII (パリ ハワイ)】(2018年8月28日オープン)

「ZIGU」の2階に位置する隠れ家的空間で、本場パリの老舗ビストロ店舗でスーシェフとして活躍した山中祐哉シェフが創り出すハワイの豊かな自然に育まれた食材による地産地消を目指したアイランドフレンチを堪能できるレストランとなります。

P A R I S . H A W A I I



NOVEL

SHINSAIBASHI

[NOVEL SHINSAIBASHI (ノヴェル シンサイバシ)] (2018年12月開業予定)

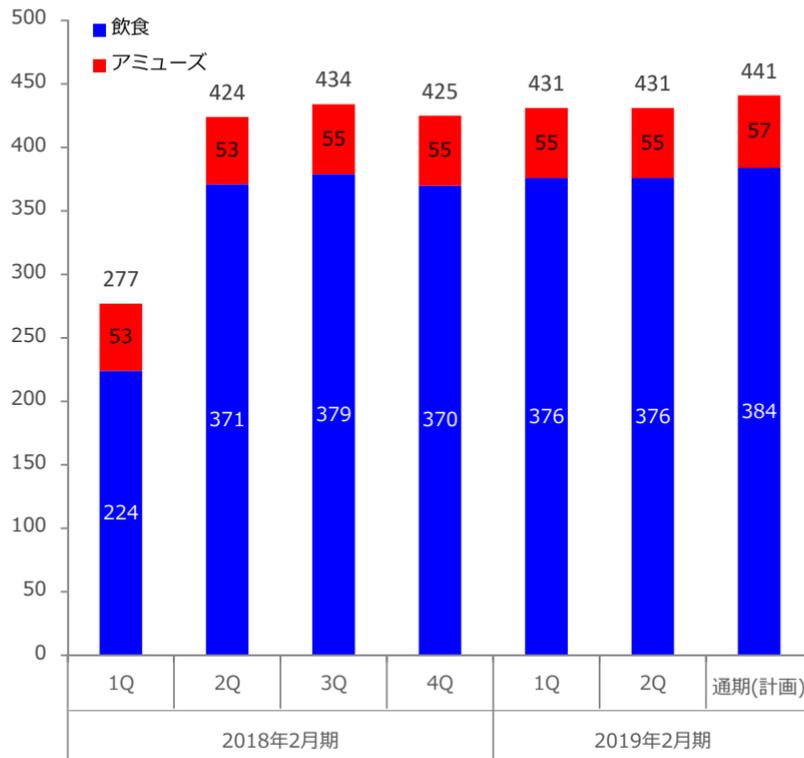
「CELEBRATING DIVERCITY-多様性を祝う-」がコンセプト。

様々な人々が繰り広げるドラマのような日常がある大阪・心斎橋に今までの業界の常識を覆す自由度の高いウェディングステージ「NOVEL SHINSAIBASHI」が誕生いたします。

形容詞では「目新しい・奇抜な」の意味を持つ「NOVEL」という言葉を、誰もが幼い頃、遊園地で感じた高揚感を主役とゲストが感じ得る場所として施設名称となります。

2017年9月に開業したウェディング施設第1号店「京都祝言」が大事にしている“OKIMOCCHI”の考え方はそのままに、サービスの仕方を変化させウエディング業界のみならず新しい分野へのイノベーションと新しい世代へのアプローチを行う新しいウェディング施設になります。

店舗数推移



2019年2月期においては、国内14店舗、海外2店舗の新規出店合計16店舗の計画。2Qについては変動なし

【店舗数推移】

	1Q	2Q	中間期合計	3Q	4Q	通期合計
①新規出店	8	3	11			11
②業態変更	5	0	5			5
③退店	2	3	5			5
④純増店舗数 (①-③)	6	0	6			6

【新規出店ブランド】



GLASS DANCE

P A R I S . H A W A I I

※注 上記直営店舗の他、LC7店舗、FC7店舗を運営しております。
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

出店ブランド紹介



【やきとり〇金】

60円～のやきとりと
セルフドリンクバーを
お楽しみいただける
焼鳥店



【薩摩ごかもん】

趣のある蔵元個室で
九州味巡りが楽しめる
郷土料理専門店



【パリエ千葉BBQテラス】

商業施設の屋上テラスなどを
利用した期間限定営業の
ビアガーデン【期間限定】



【ALOHA TABLE(アロハテーブル)】

ワイキキに本店を構え
アイランド・カルチャー
ライフスタイルを提案する
ハワイアンカフェ&ダイニング



【九州熱中屋】

コンセプトはサバと餃子の旨い店
活サバや九州の美味しい料理を
集めた九州料理専門店



【WINEHALL GLAMOUR】

「ワインホールグラマー」
自慢のグリル料理を
ソムリエ厳選のワインと
一緒に堪能できる肉バル



【GLASS DANCE(グラスダンス)】

世界のビールとグリル料理が
楽しめるラウンジ&バー



【chano-ma (チャノマ)】

21世紀の茶の間をコンセプトに
ベットを利用した小上がり空間で
家庭料理がコンセプトの料理を
堪能できるカフェダイニング



【ZIGU(ジグ)】

コンセプトは「EAT LOCAL」
ハワイの食材を心行くまで
堪能できる
和食レストラン&バー



【PARIS.HAWAII(パリハワイ)】

ハワイの食材を
フレンチの伝統的技法で創り出す
地産地消を目指した
アイランドフレンチレストラン

(ご参考) カテゴリー別売上高比率



カテゴリー		構成比 (2018年2月期1Q)	構成比 (2019年2月期1Q)	展開方針	
飲食事業	国内	飲食事業	75.5%	67.7%	首都圏を中心に居酒屋・ダイニング・カフェなど様々な店舗を展開。今期においては従前どおり既存ブランドのブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるポートフォリオ拡充のための業態開発に注力。期初計画、12店舗新規出店を計画。
		ビアガーデン	—	3.8%	(株)ゼットンにて8月末時点で10店舗運営。天候に左右されやすいため、今後も雨天に強く安定的な利益貢献ができる店舗運営へ取り組む方針。新規出店についても高い収益性が見込まれる立地のみを厳選。期初計画、1店舗新規出店を計画しオープン済。
		ウェディング	—	6.0%	グループ全体において8月末時点で6施設10店舗を運営(ウェディング施設に付随するレストラン店舗などを含む)。前期においては(株)The Sailingにて『京都祝言』を開業。期初計画、今期新規出店計画はなしであったが、大阪・心斎橋に「NOVEL SHINSAIBASHI」を12月に開業予定。
	海外	海外飲食	3.7%	4.7%	全店舗ハワイにて展開。2018年5月に和食&レストランバー「ZIGU」、8月に「PARIS HAWAII」を出店。今期は全店黒字化に向けて、コラボに取り組むなど営業活動の見直し・ブラッシュアップを行う方針。「ZIGU」を含めて期初計画、今期2店舗新規出店を計画しオープン済。
アミューズメント事業		20.8%	17.9%	ビリヤード・ダーツ・カラオケ事業、インターネットカフェ事業、「KAWAII MONSTER CAFE HARAJUKU」の運営に加え、昨年よりカプセルホテル事業に参入。厳選した立地のみ出店を行い、今後さらなる収益性向上を目指す。期初計画、2店舗新規出店を計画。2018年9月にカプセルホテル「GLANSIT KYOTO KAWARAMACHI~CONFORT CAPSULE HOTEL~」をオープン済。	

トピックス



【chano-ma 中目黒】

DD POINT の状況



グループ全体で「DD POINT」のシステム対応を進め、当第2四半期末で400店舗で利用可能。



DD POINT導入状況

グループ会社	2017.8月末時点	2018.8月末時点
ダイヤモンドダイニング	○	○
ゴールデンマジック	○	○
バグース	○	○
ゼットン	○	○
商業藝術	-	○
エスエルディー	-	- ※注2

合計400店舗

※注1 一部店舗ではご利用いただけません。

※注2 エスエルディー店舗は2018年9月よりポイントの使用のサービスがスタートしておりますが、付与につきましては決定次第お知らせいたします。

主な外部コラボレーション



吉本興業株式会社社員食堂
「Munch Lunch (マンチ ランチ)」をプロデュース

店舗名「Munch Lunch」にはモグモグ食べるという意味があります。食事の時間が不規則になりがちな吉本興業で働く人々が、決まった時間にご飯を食べられる場所。栄養バランスの良い、温かい、おいしいものが食べられて、ごはんだけで元気に健康になれる食堂。打合せや収録、取材などで来た芸人さん、普段は地方事務所で働く社員が、東京本部に来たら立ち寄りたくなる食堂を目指されます。



映画「熱狂宣言」との期間限定コラボレーション

吉本興業株式会社のグループ会社があります「株式会社KATSU-do」配給の映画「熱狂宣言」のポップアップストアを2018年10月19日（金）にオープン。
（ダイヤモンドダイニング運営店舗「GLASS DANCE Roppongi」にて期間限定）

会社概要



【KAWAII MONSTER CAFE HARAJUKU】

会社概要 (2018年8月末日現在)



◆ 商号	株式会社DDホールディングス (旧商号：株式会社ダイヤモンドダイニング)
◆ 上場市場	東京証券取引所 市場第一部
◆ 証券コード	3073
◆ 本社所在地	東京都港区芝4-1-23 三田NNビル18F
◆ 設立	1996年3月 (平成8年)
◆ 資本金	6億9,938万円
◆ 発行済株式数	7,821,360株 (注) 2018年8月末日現在
◆ 決算	2月末日
◆ 代表者名	松村 厚久
◆ 従業員数	連結8,785名 (正社員1,767名・パートナー (平均) 7,018名)
◆ グループ会社	・ 連結子会社数 : 16社 ・ 非連結子会社数 : 1社 ・ 持分法適用関連会社数 : 1社
◆ 監査法人	太陽有限責任監査法人
◆ 事業内容	飲食事業 (居酒屋・レストラン等)、海外飲食事業 アミューズメント事業 (ビリヤード・ダーツ・複合カフェ等)、ウェディング事業、カプセルホテル事業

世界に誇る 「オープンイノベーション企業」

Dynamic & *Dramatic*

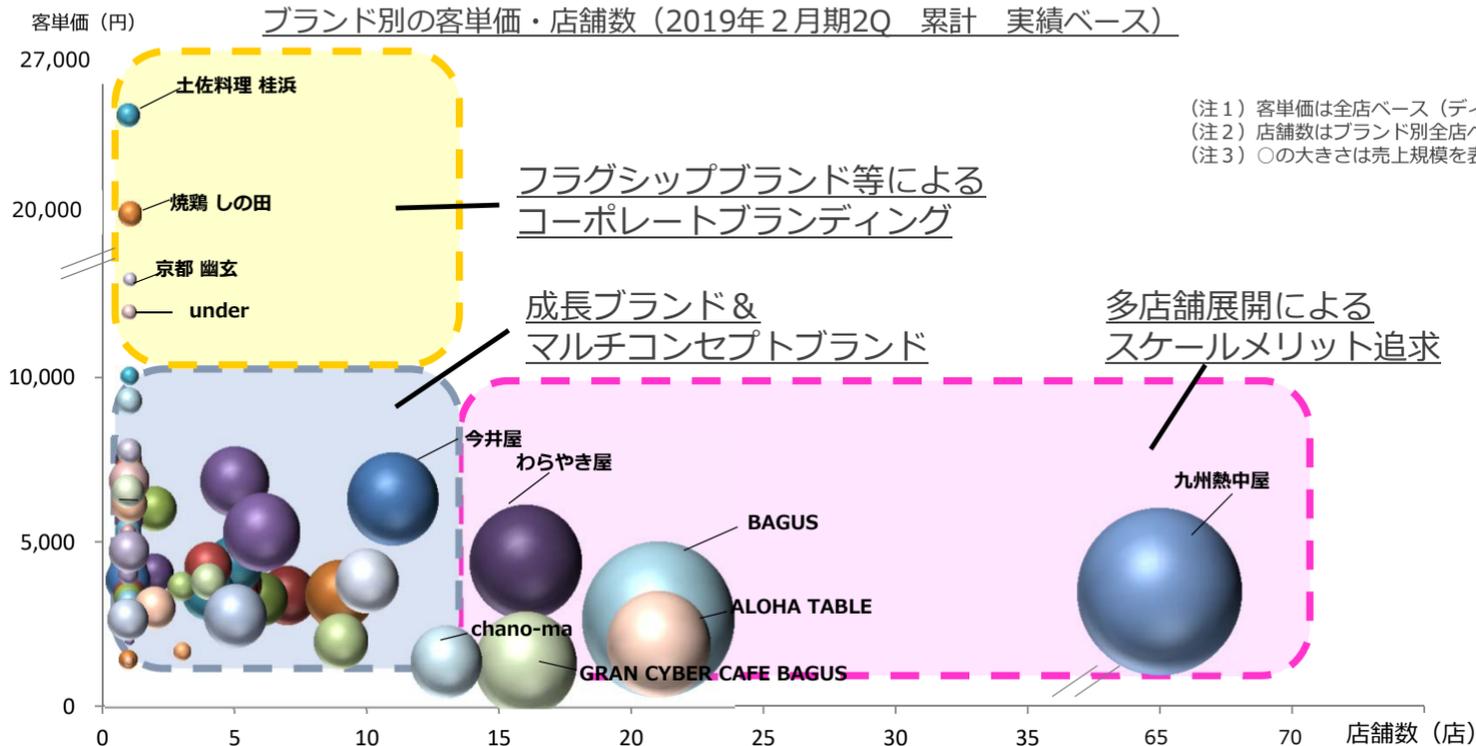
大胆かつ劇的に行動する

グループ体制



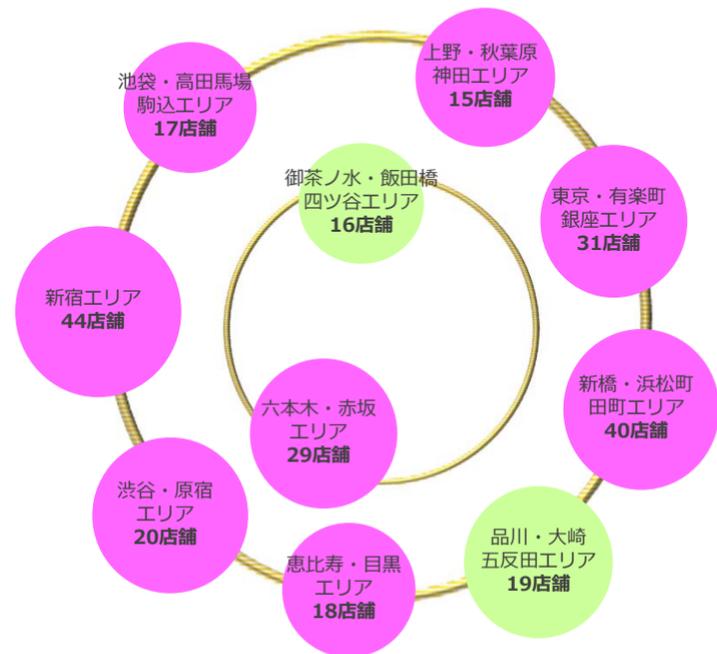
(ご参考) ブランドポートフォリオ

ブランドポートフォリオを明確化することにより、あらゆるリスクを回避



山手線沿線出店状況 -ドミナント戦略-

山手線沿線出店状況(2018年8月末現在)



山手線沿線内出店数

合計249店舗

【凡例】 ● …飲食店舗とアミューズメント店舗がドミナント ● …飲食店舗のみ

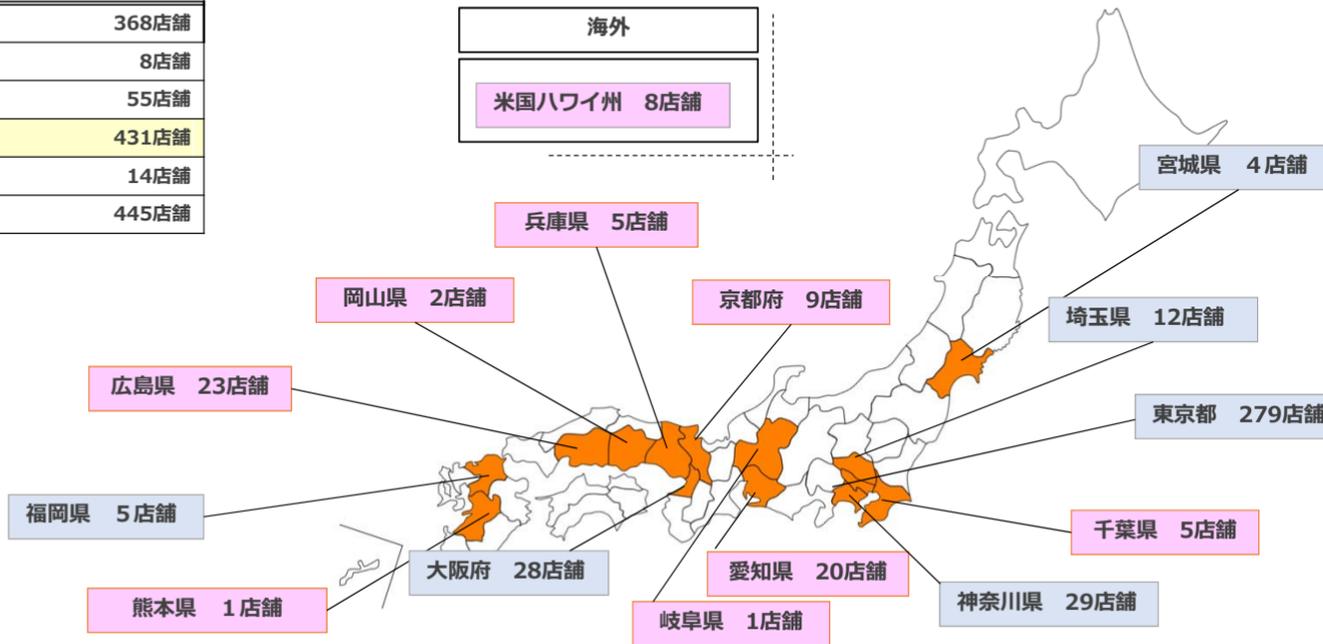
■店舗数

属性	店舗数
飲食（国内）	368店舗
飲食（海外）	8店舗
アミューズメント（国内）	55店舗
直営店舗 合計	431店舗
ライセンス	14店舗
直営+ライセンス 合計	445店舗

※2018年8月末日現在

【凡例】

- …飲食店舗のみ
- …飲食店舗及びアミューズメント店舗出店



本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問合せ先

グループ経営企画本部 IR部

T E L : 03-6858-6082

F A X : 03-6858-6083

E-mail : ir@dd-holdings.com



DD HOLDINGS